

# 農作物70超(三)溫暖化影響

全國調査品質低下や収穫減

地球温暖化などの気候変

動により、品質低下や収穫量減少といった影響が出ていると都道府県が捉えている。農作物が合計で七十品目以上に上る。また十六日、共同通信の全国調査で分かった。北海道から沖縄までコメや豆類、野菜、果物、草花など幅広い種類で影響が発生。多くの産地が、高温に適応した品質への改良などの取り組みを重ねている。

気候変動で農作物に影響があると答えた自治体  
※共同通信調べ  
（複数回答）

卷之三

農林水産省による  
気候変動と  
と、高温のよつた気候変動  
の影響として、コメでは①  
てんぶんの蓄積が不十分  
で、粒の一部が白く濁る  
「白未熟粒（しれみじゆく  
りゆう）」の発生②亀裂が  
入る「胴割粒（どうわりり  
ゅう）」の発生③カメムシ

など虫害の多発など)が報告され、品質低下や収量減につながると懸念されてい。農水省は今後の気温上昇に伴い、白米熟粒のさらなる増加を予想。適応策として高温に耐えられる品種の開発や水管理の徹底、田植え時期の移動などが実施されている。

## 都道府県が挙げた 気候変動の影響による 農作物の変化の例

農作物	主な被害
コメ	白未熟粒・胴割粒の発生、 登熟不良、カメムシなどの発生、 粒の充実不足
ブドウ	害虫の発生、着色不良、着色遅延
ナシ	発芽不良、着花不良、花芽枯死
トマト	着色不良、奇形・裂果・落花の 増加
ミカン	浮き皮、腐敗、日焼け果、 着色不良、糖度低下
キク類	花の奇形化
イチゴ	花芽分化の遅れ
豆類	出芽不良・生育不良、落花
ネギ	発芽不良、生育停滞、害虫の発生
リンゴ	日焼け果、着色不良、着色遅延

回答が多かった農作物	気候変動の影響があるとの 回答と答えた都道府県数
コメ	43
大豆	31
トマト	28
ナス	20
ミニトマト	20
カボチャ	20
キュウリ	17
豆類	17
柿	15
ネギ	14

影響をもたらしている現象は高温のほか、集中豪雨、降水量の増加、干ばつなど。国への要望として、高温に強い品種開発や、自治体への支援、影響予測情報の提供、ほかの地域の対策共有などを求める声が上がった。

各地の風土に合わせて農家が生産を続けてきた現場で、気候変動の影響が大規模に及んでいる実態が浮き彫りになつた。六月下旬の猛暑のような高温化が進むと、さらに深刻化する恐れもある。調査では、多くの自治体が技術、財政両面の支援などを国に求めた。

調査は五・七月、四十七都道府県の担当部署を対象

があると答えた自治体

止めていた品目をどうやるだ  
け挙げてもいい、キノコ類  
や山菜といった食用の林産  
物も含めた。畜産物は対象  
から外した。

・スイセン、キク類、キノコ  
・シイタケの九品目を挙げ  
た。

(二十九) と続く